

## 熱水性細菌由来のネイティブフルクトース-ビスリン酸アルドラーゼ

Cat. No. NATE-1152

Lot. No. (See product label)

## はじめに

フルクトース-ビスリン酸アルドラーゼ (EC 4.1.2.13)、一般にアルドラーゼと呼ばれるの

は、可逆反||を触媒する酵素で、アルドールであるフルクトース 1,6-ビスリン酸をトリオースリン酸であるジヒドロキシアセトンリン酸 (DHAP) とグリセルアルデヒド 3-リン酸 (G3P) に分解します。アルドラーゼは、フルクトース 1-リン酸やセドヘプトロース 1,7-ビスリン酸などの他の (3S,4R)-ケトース 1-リン酸からも DHAP を生成することができます。グルコネオジェネシスとカルビン回路は、同化||路であり、逆反||を利用します。解糖系は、異化||路であり、順方向の反||を利用します。アルドラーゼは、メカニズムによって二つのクラスに分けら

れます。

**用途** ジヒドロキシアセトンリン酸と線状アルデヒド間の炭素結合形成。

*別名* アルドラーゼ; フルクトース-1,6-ビスリン酸トリオースリン酸リアーゼ; フルクトースビスリ

ン酸アルドラーゼ; フルクトースニリン酸アルドラーゼ; D-フルクトース-1,6-ビスリン酸D-グ

リセルアルデヒド-3-リン酸リアーゼ; EC 4.1.2.13; 9024-52-6

## 製品情報

**由来** 好熱性細菌

**形態** 凍結した液体

**EC**番号 EC 4.1.2.13

*CAS*登□番号 9024-52-6

*最適pH* ~6.0

**熱安定性** ~100%の安定性を100°Cで1時間維持

**緩衝液** 20 mM トリス-HCl (pH 7.5)、20 mM KCl

**単位定義** 1単位は、基質としてフルクトース1,6-ビスリン酸を使用して、1分間に $1\mu$ molの

NADH (ε340=6.22 mM-1cm-1) を酸化する酵素の量として定義されます。

## 保管・発送情報

**保存方法** -20°Cで保管してください